

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 令和4年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者0人、重傷者11人、軽傷者13人

(2) 住家被害

全壊8棟、半壊71棟、一部破損12棟、床上浸水84棟、床下浸水193棟

第1表 令和4年中の災害発生状況

発生年月日		災害名	大雪	大雪	大雪/雪崩	大雪	暴風	台風4号	8月3日から 8月4日～5日頃	台風14号	大雪	計
区分			1月6日～26日	2月7日	2月17日～18日	2月21日～24日	3月26日	7月1日～6日	8月4日～5日頃	9月17日～20日頃	12月19日～24日	
人的被害	負傷者	重傷	6		2	2	1					11
		軽傷	5	1	1	1						5
住家被害	非住家	全壊							8			8
		半壊					1		70			71
		一部破損					2		4	4	2	12
		床上浸水						2	82			84
		床下浸水							11	182		193
		その他								13		
その他	田	流失・埋没							106.12			106.12
	道路	箇所			1				116			117
	橋りょう	箇所							3			3
	河川	箇所						1	99			100
発生年月日		災害名	大雪	大雪	大雪/雪崩	大雪	暴風	台風4号	8月3日から 8月4日～5日頃	台風14号	大雪	計
区分			1月6日～26日	2月7日	2月17日～18日	2月21日～24日	3月26日	7月1日～6日	8月4日～5日頃	9月17日～20日頃	12月19日～24日	
その他	砂防	箇所						1	77			78
	水道	戸							1,093			1,093
その他	農業用施設	箇所							140			140
	林道	箇所							108			108
	水産業施設	箇所							2			2
	上下水道	箇所							7			7
	産業団地法面	箇所							1			1
	頭首工	箇所							1			1
	ダム小放流ゲート	箇所							1			1
	牧場放牧地法面	箇所							1			1
	り災世帯数	世帯						1	2	158		
り災者数	人						1	3	497			501
農林水産業施設	千円								1,805,450			1,805,450
公共土木施設	千円			19,795				24,305	11,272,162			11,316,262
その他の公共施設	千円								97,238			97,238
公共施設被害市町村数	団体			1				2	9			12
その他被害	千円								33,375			33,375
被害総額	千円	0	0	19,795	0	0	24,305	13,208,225	0	0	0	13,252,325
都道府県	設置								8月5日			/
災害対策本部	解散								8月22日			
災害対策本部設置市町									4			4
災害救助法適用市町									1			1
消防職員出動延人数	人	50	3	12	10	8	69	238	4	15		409
消防団員出動延人数	人							163				163

2 過去5年間の災害発生状況（平成30年～令和4年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2018 (平30) 1.12～14	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 4人 軽傷 8人 (2)住家被害 一部損壊 1棟 (3)農産被害 24,314千円	1月中旬から2月中旬にかけて、強い寒気が周期的に入った。 特に、2月3日から8日は強い冬型の気圧配置が続いたため、嶺北を中心に記録的な大雪となった。 嶺北では5日夜遅くから6日昼前にかけて1時間に5cmを超える強い雪が断続的に降り、6日10時までの12時間で50cm前後の降雪量を観測した所があった。 7日15時には福井市の積雪がこの期間の最深の147cmに達し、昭和56年の豪雪(196cm)以来の大雪となった。
2018 (平30) 1.24～29	大雪	(1)人的被害 重傷 6人 軽傷 1人 (2)その他 学校 1箇所	8日午後から10日は一時的に冬型の気圧配置は緩んだが、11日から13日前半にかけて再び冬型の気圧配置が強まり、嶺北中心に大雪となった。
2018 (平30) 2.5～22	大雪	(1)人的被害 死者 12人 重傷 26人 軽傷 94人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 542棟 床下浸水 7棟 (3)非住家被害 公共建物 6棟 その他 121棟 (4)その他 学校 26箇所 (5)その他 道路 1箇所 (6)その他 橋梁 1箇所 (7)公立文教施設被害 5,627千円 (8)農林水産業施設被害 205,417千円 (9)公共土木施設被害 309,201千円 (10)その他公共施設被害 35,588千円 (11)その他被害 1,027,460千円 (12)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町	(最深積雪(2017年12月～2018年2月)) 福井 147cm(2月7日) 武生 130cm(2月13日) 大野 177cm(2月13日) 九頭竜 301cm(2月13日) 今庄 162cm(2月13日) 敦賀 57cm(2月8日) 小浜 48cm(2月8日) (大雪警報発表日) 1月11日、1月12日、1月13日、1月24日、 2月4日、2月5日、2月6日、2月7日、 2月8日、2月12日、2月13日
2018 (平30) 3.5	大雪	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟	
2018 (平30) 3.8	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 19,051千円	
2018 (平30) 3.22～23	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 17,722千円	
2018 (平30) 7.4～12	大雨	(1)住家被害 一部破損 4棟 床上浸水 3棟 床下浸水 18棟	4日は台風第7号が日本海を北東に進み、その後、8日にかけて梅雨前線が本州付近に停滞した。

年月日	種類	被害状況	気象状況
		(2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他 学校 2箇所 (4)その他 道路 26箇所 (5)その他 河川 37箇所 (6)その他 港湾 15箇所 (7)その他 崖崩れ 2箇所 (8)電気被害 24戸 (9)公立文教施設被害 450千円 (10)農林水産業施設被害 101,733千円 (11)公共土木施設被害 2,638,337千円 (12)その他の公共施設被害 458千円 (13)その他被害 1,157千円 (14)災害対策本部設置市町 敦賀市、大野市、あわら市、越前市、永平寺町、南越前町、越前町、高浜町	日本付近には暖かく湿った空気が供給され続けたため、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。 福井県では、多い所では4日から8日までの総降水量が400mmを超える大雨となった。(4日から8日までの総降水量) 九頭竜424.5mm、三国417.0mm、越廼330.0mm 三国、越廼、勝山、武生、今庄、美浜、大飯では7月の日降水量の極値を更新した。(極値を更新したアメダス) 三国(7日:164mm)、越廼(7日:193mm)、勝山(5日:178mm)、武生(5日:183mm)、今庄(5日:161mm)、美浜(5日:131.5mm)、大飯(7日:151mm)、 平成30年6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、気象庁は、この大雨の名称を「平成30年7月豪雨」と定めた。
2018 (平30) 8.24	台風 20号	(1)人的被害 軽傷 3人 (2)住家被害 一部破損 24棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 1棟 (4)田 冠水 3.0ha (5)その他 学校 2箇所 (6)その他 道路 17箇所 (7)その他 鉄道不通 1箇所 (8)その他 被害船舶 3隻 (9)電気被害 20戸 (10)公立文教施設被害 1,296千円 (11)農林水産業施設被害 146千円 (12)公共土木施設被害 20,992千円 (13)その他の公共施設被害 715千円 (14)その他被害 1,100千円 (15)災害対策本部設置市町 小浜市、鯖江市	台風第20号は、23日は、四国の南海上を北上し、強い勢力で暴風域を伴ったまま23日21時頃に徳島県南部に上陸した。その後も暴風域を伴ったまま四国から近畿地方を北上し、24日2時に日本海に抜けた後、15時に秋田県沖で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速(24日)) 福井17.4m/s(南東)00時49分 敦賀21.3m/s(南南東)03時00分 (日最大瞬間風速(24日)) 福井29.5m/s(南)03時16分 敦賀37.5m/s(南東)00時50分
2018 (平30) 9.4~5	台風 21号	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 6人 (2)住家被害 半壊 4棟 一部破損 115棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 8棟 (4)その他 学校 12箇所 (5)その他 道路 9箇所	台風第21号は暴風域を伴い非常に強い勢力を維持して4日12時頃に徳島県南部に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま北北東に進み、14時頃に兵庫県神戸市付近に再上陸した。 15時には若狭湾に達し、日本海を北上した後、5日9時に間宮海峡で温帯低気圧に変わった。

年月日	種類	被害状況	気象状況
		(6)その他 河川 6箇所 (7)その他 砂防 1箇所 (8)その他 鉄道不通 1箇所 (9)その他 被害船舶 1隻 (10)電気被害 5,200戸 (11)公立文教施設被害 7,674千円 (12)農林水産業施設被害 10,142千円 (13)公共土木施設被害 76,052千円 (14)その他の公共施設被害 82,999千円 (15)その他被害 2,792千円 (16)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町	(日最大風速(4日)) 福井 21.8m/s(南南東)15時59分 敦賀 26.3m/s(南南東)15時29分 (日最大瞬間風速(4日)) 福井 37.9m/s(南) 16時22分 敦賀 47.9m/s(東南東)15時00分
2018 (平30) 9.30～ 10.1	台風 24号	(1)住家被害 一部破損 3棟 (2)その他 砂防 1箇所 (3)その他 鉄道不通 1箇所 (4)電話被害 6回線 (5)公共土木施設被害 7,430千円 (6)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町、高浜町	台風第24号は、四国の南海上を北東に進み、非常に強い勢力を維持して30日20時頃に和歌山県田辺市付近に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま更に速度を速めて東海、関東甲信、東北地方を北東に進み、10月1日12時に日本の東海上で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速) 福井 12.0m/s(北北西)1日00時27分 敦賀 21.8m/s(北北西)30日23時49分 (日最大瞬間風速) 福井 23.7m/s(北) 1日00時08分 敦賀 30.8m/s(北北西)30日23時42分
2017 (平29) 12.25～ 2019 (平31) 1.4	地滑り	(1)公共土木施設被害 1,157,665千円	福井市蔵作町の主要地方道武生美山線において、12月25日に一次崩壊が発生し、12月29日から1月3日にかけて斜面が高さ85m、巾60m、深さ10mにわたる地すべりによって、約1万㎡の土砂が道路を寸断した。 12月25日～29日まで片側交互通行を行っていたが、12月29日から平30年1月4日までは全面通行止め。迂回路の設置完了に伴い、1月4日から片側交互通行とし、付替道路の設置完了に伴い、令和3年7月7日から対面通行を開始した。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2019 (令和) 8.16	台風 10号	(1)農林水産業施設被害 9,488千円	台風第10号は、日本の南海上を北西に進み、次第に進路を北に変え、15日11時過ぎに愛媛県佐田岬半島付近を通過した後、15日15時頃に広島県呉市付近に上陸し、中国地方を縦断後に日本海を北上した。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 16日02時48分 (日降水量) 九頭竜 92.0mm 16日 (期間水量(15日～16日)) 九頭竜 138.0mm (日最大風速(15日)) 福井 14.8m/s(南南東)21時33分 敦賀 19.2m/s(南南東)19時07分 (日最大瞬間風速(15日)) 福井 23.9m/s(南東)19時17分 敦賀 33.5m/s(南南東)19時03分
2019 (令和) 10.12～ 10.13	台風 19号	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共土木施設被害 37千円 (3)その他の公共施設被害 1,099千円 (4)その他被害 25,726千円	台風第19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時大型で猛烈な台風が発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 小浜 13.5mm 12日13時25分 今庄 12.0mm 12日15時03分 (日降水量) 小浜 113.0mm 12日 今庄 100.0mm 12日 (期間水量(12日～13日)) 小浜 127.0mm 今庄 111.0mm (日最大風速(12日)) 福井 12.5m/s(北北西)20時41分 春江 18.7m/s(北)21時01分 敦賀 20.0m/s(北西)20時06分 (日最大瞬間風速(12日)) 福井 22.3m/s(北北西)23時48分 春江 27.8m/s(北北西)20時36分 敦賀 29.9m/s(北北西)19時22分
2020 (令和) 6.10～ 6.16	大雨	(1)農林水産業施設被害 5,023千円 (2)公共土木施設被害 115,294千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により14日を中心に激しい雨が降り大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 39.5mm 14日17時54分 春江 38.0mm 14日18時05分 福井 36.0mm 14日18時17分 敦賀 32.0mm 14日19時37分 小浜 31.5mm 13日07時49分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
			(日降水量) 春江 125.5mm 14日 越廼 111.0mm 14日 三国 108.5mm 14日 勝山 105.0mm 14日 福井 103.5mm 14日
2020 (令2) 6.27～ 6.28	大雨	(1)公共土木施設被害 43,407千円	梅雨前線の影響により28日は非常に激しい雨が降り、大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 50.0mm 28日 02時13分 福井 36.5mm 28日 02時40分 美山 36.0mm 28日 03時23分 (日降水量) 越廼 97.0mm 28日 福井 78.5mm 28日 美山 57.5mm 28日
2020 (令2) 7.8	大雨	(1)住家被害 床下浸水 3棟	活発な梅雨前線の影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 8日 03時42分 敦賀 26.5mm 8日 05時07分 今庄 19.5mm 8日 05時30分 (日降水量) 九頭竜 80.0mm 8日 敦賀 53.0mm 8日 今庄 53.0mm 8日
2020 (令2) 7.10～ 7.14	大雨	(1)公共土木施設被害 71,287千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 三国 21.5mm 11日 05時16分 春江 19.5mm 11日 06時39分 美山 19.0mm 11日 05時47分 (日降水量) 九頭竜 68.5mm 13日 勝山 51.0mm 13日 春江 42.5mm 11日 今庄 42.5mm 13日
2020 (令2) 9.4	地震	(1)人的被害 軽傷 13人	福井県嶺北を震源とする地震 9月4日 09時10分 M5.0 深さ7km 北緯 36度 06.9分

年月日	種類	被害状況	気象状況
			東経 136度 11.3分 震度 5弱 坂井市 震度 4 福井市、あわら市 震度 3 鯖江市、永平寺町、越前町、越前市
2020 (令2) 12.19～ 12.20	大雪	(1)人的被害 軽傷 2人	12月14日～20日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により奥越では大雪となった。 (日降雪量最大値) 大野 24cm 12月16日 九頭竜 40cm 12月16日 (最深積雪) 大野 45cm 12月20日 九頭竜 77cm 12月18日
2020 (令2) 12.31～ 2021 (令3) 1.1	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月31日から1月1日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 10cm 12月31日 武生 10cm 1月1日 大野 21cm 1月1日 九頭竜 36cm 1月1日 今庄 27cm 12月31日 敦賀 18cm 12月31日 小浜 12cm 12月31日 (最深積雪) 福井 17cm 12月31日 武生 18cm 1月1日 大野 63cm 1月1日 九頭竜 98cm 1月1日 今庄 35cm 1月1日 敦賀 22cm 1月1日 小浜 11cm 12月31日
2021 (令3) 1.2～ 3.7	大雪	(1)人的被害 死者 8人 重傷 17人 軽傷 77人 (2)住家被害 全壊 2棟 半壊 1棟 一部破損 192棟 床上浸水 2棟 床下浸水 14棟 (3)非住家被害 その他 12棟 (4)その他 道路 2箇所 (5)その他 河川 1箇所 (6)公共土木施設被害	1月8日から1月9日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、嶺北を中心に大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 54cm 1月9日 武生 32cm 1月8日 大野 63cm 1月8日 九頭竜 52cm 2月17日 今庄 39cm 1月10日 敦賀 23cm 2月18日 小浜 4cm 1月29日、2月9日 (最深積雪) 福井 107cm 1月9日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
		589,051 千円 (7)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、 坂井市、永平寺町	武生 64cm 1月10日 大野 166cm 1月11日 九頭竜 187cm 1月10日 今庄 91cm 1月10日 敦賀 26cm 2月18日 小浜 4cm 1月2日、1月30日 2月9日
2021 (令3) 7.6~ 7.7	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 10,640 千円	活発な梅雨前線の影響により大雨となった 所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 36.0mm 7日05時52分 九頭竜 27.5mm 7日06時19分 大野 22.0mm 7日06時24分 (日降水量) 越廼 72.5mm 7日 九頭竜 56.0mm 7日 美山 45.5mm 7日 大飯 45.5mm 7日
2021 (令3) 7.15	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 20,643 千円	上空に流れ込んだ寒気の影響により、大気 が不安定となった。 (日最大1時間降水量) 武生 18.0mm 15日16時11分 美浜 9.0mm 15日19時27分 大飯 6.5mm 15日15時14分 (日降水量) 武生 18.0mm 15日 美浜 9.0mm 15日 大飯 9.0mm 15日
2021 (令3) 7.29	大雨	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 半壊 1棟 床上浸水 16棟 床下浸水 47棟 (3)非住家被害 その他 1棟 (4)その他 田 流失・埋没 480ha 田 冠水 47ha (5)その他 学校 2箇所 (6)その他 道路 71箇所 (7)その他 河川 41箇所 (8)その他 砂防 25箇所 (9)その他 水道 170戸 (10)農林水産業施設被害 94,219 千円 (11)公共土木施設被害 1,055,177 千円 (12)その他被害 4,362 千円	29日は、台風第8号から変わった日本海の 低気圧に向かって、暖かく湿った空気が流入 し、また、東日本上空約6000メートルの氷点 下6度以下の寒気が北陸地方に流れ込んだ。 このため、大気の状態が非常に不安定となり、 福井県では嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 44.0mm 29日06時17分 越廼 34.0mm 29日08時12分 美山 25.5mm 29日01時51分 (日降水量) 福井 107.0mm 29日 越廼 91.5mm 29日 春江 60.0mm 29日

年月日	種類	被害状況	気象状況
2021 (令3) 8.9	台風 9号	(1)人的被害 軽傷 1人	台風第9号は、8日午後8時過ぎに鹿児島県枕崎市付近に上陸し、9日5時過ぎに広島県呉市付近に再上陸した後、9日9時に中国地方で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 美山 18.0mm 9日21時04分 小浜 15.5mm 9日5時18分 (日降水量) 武生 54.0mm 9日 美山 46.5mm 9日 (日最大風速(9日)) 三国 16.3m/s(南) 15時11分 福井 14.8m/s(南南西)18時20分 春江 14.4m/s(南) 17時20分 (日最大瞬間風速(9日)) 三国 30.2m/s(南) 18時16分 福井 27.2m/s(南南西)17時44分 春江 23.7m/s(南南西)18時23分 越廼 23.7m/s(南) 17時39分
2021 (令3) 8.14	大雨	(1)その他 道路 1箇所 (2)その他 河川 5箇所 (3)その他 砂防 4箇所 (4)公共土木施設被害 145,906千円	本州付近に停滞した活発な前線の影響により、大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 31.0mm 14日06時47分 武生 28.0mm 14日06時53分 大飯 23.5mm 14日06時48分 (日降水量) 大飯 93.0mm 14日 武生 91.5mm 14日 小浜 86.5mm 14日
2021 (令3) 12.18~ 12.28	大雪	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 7人	上空に強い寒気が流れ込み、26日から27日にかけて断続的に雪が降った。 (日最大降雪量) 福井 14cm 12月25日 武生 19cm 12月26日、12月27日 大野 28cm 12月19日 九頭竜 36cm 12月27日 今庄 28cm 12月18日 敦賀 16cm 12月27日 小浜 34cm 12月26日 (最深積雪) 福井 33cm 12月27日 武生 35cm 12月27日 大野 46cm 12月28日 九頭竜 57cm 12月27日、12月28日 今庄 41cm 12月27日 敦賀 26cm 12月27日 小浜 47cm 12月27日
2022 (令和4) 1.20	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	日本付近は、冬型の気圧配置となっている。北陸地方の上空約5500メートルに、氷点下36度以下の強い寒気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となり嶺北の山地を中心に

年月日	種類	被害状況	気象状況
			<p>に大雪となった。</p> <p>(日降雪量最大値(20日))</p> <p>九頭竜 43cm 大野 43cm 今庄 30cm 武生 22cm 福井 14cm 敦賀 4cm 小浜 3cm</p> <p>(最深積雪最大値(20日))</p> <p>九頭竜 151cm 大野 99cm 今庄 72cm 武生 30cm 福井 28cm 小浜 5cm 敦賀 4cm</p>
2022 (令和4) 2.16~ 2.17	大雪	<p>(1)人的被害 重傷 2人 軽傷 1人</p> <p>(2)公共土木施設被害 19,795千円</p>	<p>日本海の低気圧や寒気の影響で日本海側を中心に大雪となった。</p> <p>(日降雪量最大値)</p> <p>福井 18cm 2月16日 武生 17cm 2月16日 大野 56cm 2月16日 九頭竜 49cm 2月16日 今庄 19cm 2月17日 小浜 8cm 2月17日 敦賀 15cm 2月17日</p> <p>(最深積雪最大値)</p> <p>福井 25cm 2月17日 武生 24cm 2月17日 大野 124cm 2月17日 九頭竜 198cm 2月17日 今庄 80cm 2月17日 小浜 8cm 2月17日 敦賀 15cm 2月17日</p>
2022 (令和4) 3.26	暴風	<p>(1)人的被害 重傷 1人</p> <p>(2)住家被害 半壊 1棟 一部破損 2棟</p>	<p>日本海の低気圧が発達したため、日本海側を中心に広範囲で南よりの暴風となった。</p> <p>(日最大風速)</p> <p>敦賀 18.2m/s(南南東)14時35分 三国 17.5m/s(南南東)15時40分</p> <p>(日最大瞬間風速)</p> <p>美浜 29.8m/s(東南東)14時16分 敦賀 29.7m/s(南東)14時21分</p>
2022 (令和4) 7.3	大雨	<p>(1)公共土木施設被害 24,305千円</p>	<p>気圧の谷と湿った空気の影響で、大気の状態が不安定となった。</p> <p><日最大1時間降水量></p> <p>福井 70.0mm 3日 19時36分 勝山 40.5mm 3日 20時29分 美山 35.0mm 3日 19時41分 大野 33.5mm 3日 20時17分</p> <p><日降水量></p> <p>福井 102.5mm 勝山 63.0mm 大野 53.0mm</p>

年月日	種類	被害状況	気象状況
			武生 49.0mm
2022 (令和4) 8.4~ 8.5	大雨 【福井 県災害 対策本 部設置】	(1)住家被害 全壊 8棟 半壊 70棟 一部破損 1棟 床上浸水 85棟 床下浸水 184棟 (2)非住家被害 その他 14棟 (3)農林水産業施設被害 305,000千円 (4)公共土木施設被害 6,148,801千円 (5)その他被害 2,000千円 (6)災害対策本部設置市町村 敦賀市、勝山市、大野市、鯖江市、 越前市、南越前町、越前町	8月4日から5日は、日本海から北陸地方を 通って日本の東にのびる前線がゆっくり南下 した。日本の南に中心を持つ高気圧の縁をま わる暖かく湿った空気が前線に向かって流れ 込んだ影響や、上空の寒気の影響で大気の状態 が不安定となった。4日昼前には奥越で猛烈 な雨が降り、激しい雨が同じ場所で降り続い たことから「線状降水帯」が発生した。5日明 け方から朝にかけて嶺北南部や嶺南東部に 次々と発達した積乱雲が流れ込み、断続的に 猛烈な雨が降り記録的な大雨を観測した。 <日最大1時間降水量> 今庄 74.0mm 5日 09時13分 美浜 66.0mm 5日 06時58分 九頭竜 65.5mm 4日 07時31分 勝山 56.0mm 4日 09時27分 大野 56.0mm 4日 09時17分 <期間降水量(3日~5日)> 今庄 426.0mm 武生 233.5mm 大野 219.5mm 九頭竜 206.5mm 福井 189.0mm 美山 186.0mm 勝山 182.0mm
2022 (令和4) 12.23~ 12.24	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月23日から24日にかけて、上空の強い 寒気が南下し冬型の気圧配置が強まった。 JPCZ が嶺北を南下したため、23日夜から24 日明け方にかけて、断続的に活動が活発な雪 雲が流れ込み、奥越を中心に大雪を観測した。 (日降雪量最大値) 福井 14cm 12月23日 武生 11cm 12月23日 大野 28cm 12月23日 九頭竜 29cm 12月24日 今庄 11cm 12月24日 敦賀 2cm 12月24日 (最深積雪最大値) 福井 20cm 12月24日 武生 9cm 12月24日 大野 64cm 12月24日 九頭竜 87cm 12月24日 今庄 33cm 12月24日 敦賀 2cm 12月24日

第2章 令和4年の天候概況

1 天候の特徴

◇ 年（1月～12月）の概況

1月は低気圧や冬型の気圧配置の影響で、曇りや雪または雨の日が多く、中旬は強い寒気が流れ込んだ影響で、大雪となった所もあった。また、冬型の気圧配置が緩み晴れた日も時折あった。2月は冬型の気圧配置が強まり上中旬は強い寒気の影響で、山地や嶺南を中心に大雪となった。今冬は断続的な冬型の気圧配置となったため気温は低く、降水量・降雪量が多いか平年並だった。たびたび強い寒気が流れ込んだ影響で大雪となった所もあった。

3月～4月は、寒気の影響を受けにくかったことや、移動性の高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、天気は数日の周期で変わった。5月は高気圧に覆われ晴れた日が多くなり、気温の変動が大きくなった。気温は高くなり、降水量は少なくなった。

6月下旬～7月上旬は、太平洋高気圧や上層の高気圧の影響で晴れた日が多く記録的な高温となった。梅雨入りは6月6日ごろで梅雨明けは特定できなかった。8月は低気圧や前線の影響で記録的な大雨や多雨となった。気温はかなり高くなり、日照は平年並となった。

9月～11月は、暖かい空気に覆われやすく、低気圧や前線及び寒気の影響を受けにくい時期があったため、日照時間はかなり多く、気温はかなり高くなった。降水量は、少ないかかなり少なくなった。

12月は、冬型の気圧配置や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、下旬に強い寒気が流れ込んだ影響で、大雪となった所もあった。

年平均気温の平年差は福井で+0.6℃で平年より高く、敦賀で+0.6℃で平年より高くなった。

年降水量の平年比は福井では107%で平年並み、敦賀では94%で平年並みとなった。

年日照時間の平年比は福井では110%で平年よりかなり多く、敦賀では107%で平年より多くなった。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	15.4	0.6	高い	2467.0	107	平年並	1826.4	110	かなり 多い
敦賀	16.2	0.6	高い	2066.5	94	平年並	1702.9	107	多い

※平年差（比）は、平年値（1991年～2020年の30年平均値）から求めている。

◇ 台風

台風の年間発生数は平年並みの25個(平年値25.1個)となり、日本への接近数は11個(平年値11.7個)、上陸数は3個(平年値3.0個)。北陸地方への接近数は3個(平年値2.8個)となった。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生				2		2	2	5	7	5	1	1	25	25.1
上陸 (注1)							1	1	1				3	3.0
北陸地方に 接近した台風								1	2				3	2.8

(注1) 「上陸」は台風が中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指す。

※台風が中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としている。

※接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

2 月別気象概況

◇ 2022年(令和4年)月別気象概況

1月

冬型の気圧配置や低気圧の影響で曇りや雪の日が多く、中旬は強い寒気の影響により大雪となった所もあった。また、冬型の気圧配置が緩み、晴れた日もあった。

平均気温は、美浜で平年並、大野、勝山で平年よりかなり低く、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、武生、今庄、敦賀で平年並、春江、越廼、九頭竜、小浜、大飯で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、三国、福井で平年よりかなり多く、越廼、今庄、敦賀で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

2月

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪または雨や曇りの日が多くなり、上中旬には強い寒気の影響で山地や嶺南を中心に大雪となった日があった。

平均気温は、三国で平年並、小浜で平年よりかなり低く、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、春江で平年よりかなり少なく、三国、越廼で平年より少なく、武生、九頭竜、大飯で平年並、今庄、敦賀で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、大野で平年よりかなり少なく、勝山、今庄で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

3月

高気圧と低気圧が交互に通過して、天気は周期的に変わった。26日は発達した低気圧の影響で大荒れの天気となった。

平均気温は、三国で平年よりかなり高く、勝山、大野、今庄で平年並、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、春江で平年よりかなり少なく、九頭竜で平年並、その他の地点では平年より少なくなつた。

日照時間は、大野で平年より少なく、その他の地点では平年並となつた。

4月

天気は数日の周期的で変わったが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなつた。また、暖かい空気の影響を受け、気温は高くなつた。

平均気温は、敦賀、大野で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなつた。

降水量は、三国、越廼、大飯で平年並、その他の地点では平年より少なくなつた。

日照時間は、全ての地点で平年より多くなつた。

5月

この期間、天気は数日の周期で変わったが、高気圧に覆われて、晴れた日が多くなつた。なお、気温の変動が大きくなつた。

平均気温は、三国で平年より高く、その他の地点では平年並となつた。

降水量は、福井、敦賀で平年並となり、大野、大飯で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなつた。

日照時間は、小浜で平年並となり、その他の地点では平年より多くなつた。

6月

梅雨前線の影響を受けにくく、晴れた日が多くなつた。なお、上旬は上空に冷たい空気が流れ込み、気温は平年を下回つたが、その後は太平洋高気圧が強まり、暖かい空気が流れ込みやすくなつたため、月平均気温は記録的な高温となつた。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなつた。

降水量は、勝山、大野、九頭竜、美浜、大飯で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなつた。

日照時間は、小浜で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなつた。

7月

月のはじめと終わりは高気圧に覆われ晴れた日があつたが、期間の中頃は暖かく湿った空気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなつた。なお、3日と9日は大気の状態が非常に不安定となり、嶺北では局地的に猛烈な雨を観測した。

平均気温は、越廼で平年並、三国、美浜で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなつた。

降水量は、福井で平年より多く、越廼、武生で平年より少なく、その他の地点では平年並となつた。

日照時間は、小浜で平年より少なく、勝山で平年より多く、その他の地点では平年並となつた。

8月

前線や湿った空気の影響により、多くの地点で月降水量がかなり多く、月間日照時間が少なくなったが、特に、4日から5日にかけては嶺北で線状降水帯が発生するなど記録的な大雨となった所があった。また、中旬以降も前線や湿った空気の影響で曇りや大雨となった日があった。

平均気温は、三国、美浜、小浜で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、大飯で平年並となり、春江、越廼、小浜で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

日照時間は、全ての地点で平年より少なくなった。

9月

期間のはじめは前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなったが、その後は、高気圧に覆われ晴れて、暖かい空気が流れ込み気温も平年より高い日が多くなった。なお、この期間、台風第11号と台風第14号の影響で大雨や大荒れとなった日があった。

平均気温は、越廼で平年並、今庄で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、武生、敦賀、美浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、三国、福井、越廼、敦賀で平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

10月

期間の前半は前線や低気圧の影響により、曇りや雨の日が多くなった。その後は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。また、寒気の影響を受けたため、平均気温は平年を下回る日が多くなった。

平均気温は、三国、福井で平年並、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、三国で平年より多く、福井、越廼、美山、大飯で平年並、大野、九頭竜で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、三国で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

11月

天気は数日の周期で変化しましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多く降水量はかなり少なくなり、日照時間は各地でかなり多くなった。また、寒気の影響が弱く、南から暖かい空気が流れ込んだ影響で、月の平均気温は、多くの地点で平年よりかなり高くなった。

平均気温は、春江、越廼、小浜で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

降水量は、春江、勝山、九頭竜、武生、越廼で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

日照時間は、全ての地点でかなり多くなった。

12月

冬型の気圧配置や低気圧等の影響により、上旬は雨や曇りの日が多くなった。また、その後は、強い寒気の南下で気温が低くなり、雪やみぞれの日が多くなった。なお、期間の後半は嶺北を中心に積雪となった。

平均気温は、三国、美浜で平年並、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、美浜で平年より少なく、小浜、大飯で平年よりかなり少なく、越廼、敦賀で平年並、美山、大野、今庄で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、小浜で平年より多く、美浜で平年並、敦賀、福井、三国で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

令和4年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を行い、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的に実施した。

2 日時、場所

令和4年10月8日（土）8時00分～12時00分

- 主訓練会場 九頭竜川河川敷（勝山市）
- サテライト会場 勝山市総合体育館 ジオアリーナ（勝山市）

3 主催

福井県、勝山市

4 想定

勝山市で土砂災害警戒情報の発表後、福井県嶺北（内陸）に震度6弱の地震が発生

5 参加機関 100機関（約1150人）

（1）国の行政機関

東京管区气象台福井地方气象台、総務省北陸総合通信局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、海上保安庁

（2）自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第372施設中隊

（3）警察関係

福井県警察本部、勝山警察署

（4）消防関係

福井県消防長会、福井市消防局、嶺北消防組合消防本部、永平寺町消防本部、大野市消

防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀・美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、(公財)福井県消防協会、勝山地区自衛消防隊、勝山市防火管理研究協議会、勝山市危険物安全協会、勝山市消防団

(5) 医療関係

(一社)福井県医師会、(社)勝山市医師会、(公社)福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、福井県立病院、福井県済生会病院、福井大学医学部付属病院、勝山総合病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、福井県歯科医師会

(6) 交通運輸関係

中日本高速道路(株)金沢支社、赤帽福井県軽自動車運送協同組合

(7) ライフライン関係

北陸電力(株)福井支店、北陸電力送配電(株)福井支社、(一財)北陸電気保安協会福井支店、(一社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、福井県管工業協同組合、勝山市管工業協同組合

(8) 各種団体

日産プリンス福井販売(株)、福井日産自動車(株)、福井三菱自動車販売(株)、(株)福井銀行、西日本電信電話(株)、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、(株)NTTドコモ北陸支社、(公社)福井県ビルメンテナンス協会、福井県民生活協同組合、福井大学医学部、福井工業大学笠井研究室、セイノーホールディングス(株)、モンベル、

(9) 地元地区関係

勝山市

6 主な訓練項目

(1) 実働機関による実践的な訓練

- ・ヘリ、ドローンによる被害状況確認
- ・土砂災害救出救助
- ・林野火災消火訓練

(2) 避難所運営訓練

- ・LINE等のSNSを活用した避難所受付
- ・要支援者、外国人避難者対応訓練
- ・DWA Tと勝山市による避難所生活支援訓練

(3) 住民避難訓練・支援訓練

- ・勝山市民 約250名が住民避難訓練に参加
- ・避難者によるパーティション等の設置
- ・福祉避難所への移動

(4) ライフライン復旧訓練

- ・停電時の電力復旧対応
- ・地震による断水の復旧対応
- ・LPガス漏洩応急処置

<訓練項目図>

令和4年度福井県総合防災訓練 スケジュール

時間	内容	実施機関
7:30	比島水柱観測点(丸屋川)において地震計常水位(警戒レベル2)超過、高層倉等避難指令【昭和町】	
7:45	勝山市に土砂災害警戒情報発表	
7:50	避難指示発令【昭和町】	
8:00	福井県様北地方を震源とする震度6弱の地震発生、被害が甚大	
9:00~9:20	複数ドローンによる被害状況確認および映像伝達訓練(海保、県警)	
9:25~9:45	ヘリによる被害状況確認および情報伝達訓練(空自)	
9:50~10:10	水難救助訓練(海保、消防)	
10:30~10:45	ドクターヘリ搬送訓練(福井県、消防、消防団)	
10:30~11:20	林野火災消火訓練(陸自、防災航空隊、消防団)	
9:00~9:10	オゾンレベル等による被害状況確認および映像伝達訓練(陸自)	
9:10~9:30	自主防災組織等による救助訓練(消防団、勝山地区自衛消防隊等)	
9:30~09:50	倒壊建物消火訓練(消防、消防団、勝山地区自衛消防隊等)	
9:15~11:20	応急救護所・設置運営訓練(日赤、DMAT、医師会、看護協会、市、消防、消防団) 多数傷病者対応訓練(DMAT、消防) 血液緊急輸送訓練(福井県赤十字血液センター)	
9:10~10:00	架橋訓練(陸自)	
9:00~11:20	現地合同調整所設置・運営訓練(自衛隊、海保、県警、消防等) 非常通信訓練(県、北陸地方非常通信協議会) 通信手段確保訓練(北陸総合通信局、県、市) 各種体験・展示(各実施機関等)	
8:40~8:55	集結訓練(消防)	
10:15~11:10	土砂埋没建物等救助訓練(陸自、県警、消防、消防団)	
10:20~11:20	水防訓練(福井河川国道事務所、県、市、消防団、消防団協力事務所)	
10:30~11:20	災害廃棄物処理訓練(県、市、県産資源循環協会)	
11:00~11:15	救援物資搬送訓練(オフロードバイク)【開催】	
10:30~11:20	ワイフライン復旧訓練(市、LPガス協会、北陸電力、勝山市管工事業者協同組合)	
7:00~9:30	避難所開設・運営訓練(市、住民)	
7:30~9:30	住民避難訓練、避難誘導訓練、避難所運営訓練(県警、市、住民)	
9:00~11:30	避難所運営訓練(県警等)	
9:00~11:30	DWATと勝山市による避難所生活支援訓練(県、市、住民)	
9:00~9:30	外国人避難者対応訓練(県国際交流協会、市) 要配慮者避難訓練(県、市、勝山市社会福祉協議会、住民)	
9:30~11:30	臨時給水所開設訓練(陸自)	
9:30~11:30	非常食・防災グッズの展示(各機関) 災害対応設備の展示(各機関)	
10:00~11:30	現地災害ボランティアセンター設置運営訓練(県災害ボランティアセンター連絡会等)	
7:00~8:30	交通対策訓練(県警)	
8:00~9:00	災害対策本部・設置運営訓練(県)	
8:00~9:00	災害対策本部設置訓練(県、市)	
8:00~9:00	災害対策本部・設置運営訓練(市)	
8:40~9:50	石油燃料供給訓練(石油業協同組合、県警)	
9:30~11:00	安否不明者確認訓練(市)	
9:00~10:40	隣接地区待機要請および救援班派遣訓練(福井県医師会)	

令和4年度 福井県原子力総合防災訓練 実施結果 (美浜地域における国主催原子力防災訓練)

1 目 的

福井県地域防災計画（原子力災害対策編）および美浜地域の緊急時対応に基づき、国、関係県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力総合防災訓練を実施し、国、地方公共団体、原子力事業者、関係機関における初動対応の確立、防災体制の確認、住民避難体制や緊急時医療措置等の災害対策の習熟、原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進を図ることを目的とする。

2 実施時期

令和4年11月4日（金）～6日（日）

3 対象発電所 関西電力株式会社 美浜発電所

4 場所

美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町等の訓練実施市町

5 訓練参加数

(機 関)

約150機関 約3,100人

(住 民)

避難訓練参加住民 約 647人

屋内退避参加住民 約4,700人

6 主な参加・協力機関（順不同）

(指定行政機関等)

内閣官房、内閣府、国家公安委員会、警察庁、消費者庁、総務省、消防庁、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、資源エネルギー庁、国土交通省、気象庁、海上保安庁、環境省、原子力規制委員会、防衛省

(指定地方行政機関等)

中部管区警察局、近畿地方整備局、中部運輸局、東京管区气象台、福井地方气象台、彦根地方气象台、第八管区海上保安本部(敦賀海上保安部、小浜海上保安署)、陸上自衛隊中部方面隊、陸上自衛隊第3師団、陸上自衛隊第10師団、航空総隊、航空支援集団、航空自衛隊第12高射隊、海上自衛隊舞鶴地方隊、自衛隊福井地方協力本部、美浜原子力規制事務所 等

(地方公共団体等)

福井県、石川県、兵庫県、滋賀県、岐阜県、奈良県、関西広域連合、美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町、おおい町、坂井市、永平寺町、小松市、姫路市、三木市、天理市、長浜市、高島市、大津市、揖斐川町、警視庁、埼玉県警察、福井県警察、石川県警察、滋賀県警察、岐阜県警察、福井県教育委員会、滋賀県教育委員会、福井市消防局、敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、湖北地域消防本部、高島市消防本部、揖斐郡消防組合消防本部等

(指定公共機関等)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、日本原子力発電株式会社、西日本電信電話株式会社福井支店、KDDI株式会社、株式会社NTTドコモ、ソフトバンク株式会社、日本赤十字社福井県支部、中日本高速道路株式会社金沢支社 等

(指定地方公共機関等)

一般社団法人福井県トラック協会、一般社団法人兵庫県トラック協会、公益社団法人福井県バス協会、一般社団法人滋賀県バス協会、公益社団法人岐阜県バス協会等

(原子力事業者)

関西電力株式会社、日本原子力発電株式会社(美浜原子力緊急事態支援センター)等

(その他)

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、一般社団法人福井県医師会、社団法人揖斐郡医師会、一般社団法人福井県薬剤師会、一般社団法人湖北薬剤師会、高島市薬剤師会、一般社団法人揖斐郡薬剤師会、福井県漁業協同組合、公益社団法人福井県診療放射線技師会、公益社団法人滋賀県診療放射線技師会、公益社団法人京都府放射線技師会、公益社団法人大阪府診療放射線技師会、公益社団法人兵庫県放射線技師会、公益社団法人奈良県診療放射線技師会、一般社団法人和歌山県放射線技師会、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、長浜赤十字病院、大津赤十字病院、滋賀医科大学医学部附属病院、近江八幡市立総合医療センター、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、高島市民病院、岐阜大学医学部附属病院、一般社団法人岐阜県診療放射線技師会、社会福祉法人高島市社会福祉協議会 等

7 訓練想定

美浜発電所3号機において、若狭湾を震源とした地震による外部電源喪失後、原子炉冷却材の漏えいが発生。さらに設備故障等により非常用炉心冷却装置による原子炉への全ての注水が不能となり、全面緊急事態となる。

8 住民参加

令和4年度福井県原子力総合防災訓練 広域避難訓練 参加者実績

【PAZ】 58人

区分	避難元市町		避難先（移動先）		人数
要配慮者	美浜町	在宅	おおい町	いきいき長寿村	2
一般住民	美浜町		おおい町	大飯中学校	51
	敦賀市		(孤立搬送)	白木漁港（ヘリ）→鞠山南ヘルポート 白木会館（高機動車）→敦賀港金ヶ崎岸壁	5
合計					58

【UPZ】 589人

区分	避難元市町・施設名		避難先（移動先）		人数
一般住民	美浜町		おおい町	総合運動公園体育館	125
			おおい町	ホテルうみんびあ	17
			(孤立搬送)	新庄HP（ヘリ）→美浜町総合運動公園	3
	敦賀市		奈良県天理市	二階堂小学校	44
			(孤立搬送)	日本原電原子力館・西浦小中学校（ヘリ）→バス →敦賀港金ヶ崎岸壁	6
			賤ヶ岳SA		15
	若狭町		兵庫県三木市	三木総合防災公園	90
			(孤立搬送)	旧岬小学校（ヘリ）→おおい町総合運動公園	19
	小浜市		兵庫県姫路市	姫路みなとドーム	55
			兵庫県姫路市	姫路城下町ホテルクレール日笠	3
			(孤立搬送)	泊漁港（船舶）→小浜漁港	10
	南越前町		永平寺町	上志比小学校	50
	越前市		坂井市	春江B&G海洋センター	37
			石川県小松市	小松市民センター	55
越前町		坂井市	加戸小学校	48	
社会福祉施設等	美浜町	湖岳の郷	高浜町	高浜けいあいの里	4
	越前町	ライトホープセンター	大野市	希望園	8
合計					589

PAZ・UPZ総計					647
-----------	--	--	--	--	-----

9 訓練項目

(1) 住民避難訓練

- ア 避難先施設への避難
- イ 自衛隊車両、民間バス、自家用車による住民等の陸路からの避難
- ウ 自衛隊、海上保安庁等のヘリコプターおよび船舶による住民等の空路、海路からの避難
- エ 避難車両中継所における自衛隊車両等から民間バスへの乗継
- オ 消防団等による自家用車避難済み住民等の確認
- カ 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認

(2) 避難所開設運営訓練

- ア 避難所の設置運営
- イ 避難者受入マニュアルに基づく受入訓練の実施
- ウ 避難元、避難先自治体における情報伝達の確認
- エ 避難者の受付（避難退域時検査受検の有無の確認も含む）
- オ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- カ 災害時応援協定に基づく物資の調達、搬送
- キ 飲料水・飲食物の供給
- ク 避難住民への事故状況等説明の実施
- ケ 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認

(3) 避難行動要支援者避難訓練

- ア 児童園児の保護者への引渡し
- イ 引渡しできなかった児童園児は、職員と共に避難先施設等まで避難
- ウ 福祉施設入所者の避難先施設への搬送等
- エ 在宅避難行動要支援者の避難先施設（福祉避難所等）への搬送
- オ 福祉施設、原子力事業者が保有する福祉車両による搬送
- カ 放射線防護のための換気設備を使用した屋内退避
- キ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- ク 警察による避難車両のパトカー先導

(4) 原子力災害医療措置訓練

- ア 福井県緊急時医療本部等の設置・運営
- イ 避難経路上における安定ヨウ素剤の配布
- ウ 避難退域時検査および簡易除染の実施
- エ 原子力事業者、原子力災害医療協力機関の参画
- オ 自衛隊による避難退域時検査、車両除染の実施

(5) 屋内退避訓練

- ア UPZ住民による自宅等での屋内退避行動（戸締、情報収集等）の実施
- イ 避難に備え、非常用持出品（保険証、常備薬等）の準備

- ウ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避
- エ 屋内退避の意義等の理解促進活動の実施

(6) 複合災害対応訓練

- ア 複合災害時における防災関係機関間の情報伝達、対応要請の確認
- イ 自衛隊、海上保安庁による住民避難の支援
- ウ 通行不能道路における道路啓開（障害物排除）の実施
- エ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避【再掲】

(7) 緊急時通信連絡訓練

- ア 発電所から事故状況の通報連絡
- イ 国から県および関西広域連合、関係市町への通報連絡、避難指示等の伝達
- ウ 県、関係市町から自衛隊、海上保安庁、警察、消防、その他関係機関への通報連絡
- エ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、収受等
- オ 携帯型映像伝送装置等を利用した画像伝送
- カ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達

(8) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県庁、各市町庁舎、福井県美浜原子力防災センターに災害対策本部等の設置・運営、情報収集・連絡体制を構築
- イ 災害対策本部等による住民に対する情報提供の実施
(ケーブルテレビ、防災行政無線屋外拡声器、個別受信機、緊急情報メール、広報車、船舶等による地域住民・立入者等への広報)
- ウ テレビ会議システム等を活用し災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(9) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議、原子力災害合同対策協議会の開催（防護措置方針の決定等）
- ウ 各機能班の活動
- エ 県および市町現地災害対策本部等と各機能班との連携
- オ 住民等の避難状況の確認
- カ 防護措置方針に基づいた応急対策（避難先等の決定、避難手段の確保など）

(10) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンター等の設置・運営
- イ 緊急時モニタリング実施計画、緊急時モニタリング指示書の作成
- ウ 固定観測局および電子線量計観測局を活用したUPZ圏内の線量率の測定
- エ モニタリングカー、サーベイメータを活用した避難範囲の特定のための線量率の測定
- オ 放射線モニタリング情報共有・公表システム（ラミス）を用いた関係機関との情報共有

- カ 固定観測局等のバックアップとしての可搬型モニタリングポストの設置および測定
- キ 環境試料の採取、受入
- ク 福井県モニタリング本部（美浜原子力防災センター）の設置・運営および後方支援
- ケ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供
- コ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理

(11) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 住民の避難支援
- ウ 避難退域時検査、車両除染の支援

(12) 交通対策等措置訓練

- ア 主要交差点等における渋滞抑制対策の実施
- イ 道路管理者による道路点検の実施
- ウ 福井県警察本部のオフロードバイクによる避難地域の情報収集活動
- エ 福井県警察警備艇わかさによる美浜発電所周辺の海上警備
- オ 立入制限措置
- カ 警察による避難退域時検査場所周辺道路における交通誘導

(13) 発電所事故制圧訓練

- ア 緊急時活動レベル（EAL）による通報連絡訓練
- イ 本店および発電所における緊急時対策本部設置・運営
- ウ 規制庁ERCとの連携
- エ 発電所における重大事故等発生時の対応
- オ 原子力緊急事態支援組織の参画
- カ 現地支援拠点等の支援体制の確立

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	29	30	令和元	2	3	4
総合防災訓練	日時	平成29年8月27日(日)	平成30年11月9日(金)	令和元年11月1日(金)、2日(土)	令和2年11月14日(土)	令和3年11月13日(土)	令和4年10月8日(土)
	場所	南越前町日野川河川敷	テックポート福井、永平寺河川公園	中部縦貫道、真名川憩いの島	栗野スポーツセンター	鯖江市日野川河川敷	九頭竜川河川敷、勝山市体育館
	主催	福井県、南越前町、越前市	福井県、福井市、あわら市、坂井市、永平寺町	消防庁 福井県 福井県消防長会 緊急消防援助隊中部ブロック訓練実行委員会	福井県、敦賀市	福井県、鯖江市	福井県、勝山市
	参加機関	107	210	170	90	100	100
	訓練種目	41	92	75	45	50	43
	想定	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	奥越地域における大雨および地震による複合災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害
	参加人員	3,000	6,000	2,000	700	1,050	1,150
石油コンビナート等	日時		平成30年11月10日(土)				令和4年10月23日(日)
	場所		福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域				福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域
	主催		福井県石油コンビナート等防災本部				福井県石油コンビナート等防災本部
	参加機関	未開催	30	未開催	未開催	未開催	18
	訓練種目		9				28
	想定		地震による原油漏えい、防油堤一部破損および余震によるタンク火災				地震と津波によるコンビナート災害
	参加人員		100				約300
原子力防災訓練	日時		平成30年8月25日(土)、26日(日)	令和元年8月30日(金)、31日(土)	令和2年8月27日(木)	令和3年10月29日(金)、30日(土)	令和4年11月4日(金)～6日(日)
	訓練対象施設		関西電力(株) 大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株) 美浜発電所	関西電力(株) 大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株) 美浜発電所	関西電力(株) 美浜発電所
	主催		国	福井県	福井県	福井県	福井県
	参加機関		191	100	40	100	150
	訓練種目		13	13	10	13	
	想定		全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出
	参加人員		7,457	8,988	約50	約320	約650

IV 市町別自主防災組織の結成状況

令和5年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福 井 市	106,722	1,143	74,661	102,325	95.9%
敦 賀 市	29,019	89	2,225	26,232	90.4%
小 浜 市	12,192	112	1,324	8,934	73.3%
大 野 市	11,578	181	6,025	11,091	95.8%
勝 山 市	7,072	117	1,189	6,988	98.8%
鯖 江 市	25,499	160	4,408	25,434	99.7%
あ わ ら 市	10,289	110	4,400	9,758	94.8%
越 前 市	31,295	239	80,337	31,295	100.0%
坂 井 市	32,963	328	4,557	25,302	76.8%
永 平 寺 町	6,378	89	3,621	6,378	100.0%
池 田 町	890	19	128	692	77.8%
南 越 前 町	3,361	72	1,049	3,296	98.1%
越 前 町	7,264	67	1,632	5,770	79.4%
美 浜 町	3,643	22	6,930	2,785	76.4%
高 浜 町	4,278	44	784	3,445	80.5%
お お い 町	3,254	46	2,353	2,353	72.3%
若 狭 町	4,951	88	1,292	4,658	94.1%
合計・ 平均	300,648	2,926	196,915	276,736	92.0%

管内世帯数：住民基本台帳法に基づく人口、世帯数調べ（令和5年4月1日現在）

隊 員 数：自主防災組織の組織編成において隊員または班員等に位置づけられている実働隊員の総数（令和5年4月1日現在）

第4章 防災行政無線利用状況

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（令和5年4月1日現在）

〔固定系〕

区分	局数		設置場所
	多重系	衛星系	
統制局	1	1	県庁
中継局	7		越知山（越前町大谷寺） 久須夜ヶ岳（小浜市堅海） 村国山（越前市村国町） 八ツ杉（越前市別印町） 勝山（勝山市村岡町） 岳山（美浜町早瀬） 青葉山（高浜町中山）
支部局	7	7	7 土木（福井、三国、奥越、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜）
合庁局	1	1	1 合同庁舎（福井）
ダム管等局	12		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管※、龍ヶ鼻ダム下流連絡所※、永平寺堰堤※ 笹生川ダム管、笹生川堰堤※、浄土寺川堰堤※ 広野ダム管、広野堰堤※、榑谷堰堤※ 大津呂堰堤※、河内川堰堤※ ※水防無線局を含む
小計	28	9	
端末局	県出先機関	13	健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）、 県立病院、福井港湾、敦賀港湾、 衛生環境センター、防災航空事務所※ 坂井上水、日野川上水 ※福井空港は、併設局（防災航空隊）と共用
	市町	17	9 市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8 町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部	7	7 消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 ※鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局（鯖江市・敦賀市）と共用
	国・公共機関等	19	福井気象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター（敦賀、美浜、大飯、高浜）
	小計		56
可搬型地球局		3	
合計	28	68	

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 八ツ杉、勝山） 土木事務所（敦賀） 笹生川ダム管
	F W A (18GHz)	1	坂井合同庁舎
	計	12	
航 空 局		6	防災航空事務所（可搬用含む）
陸 上 移 動 局	全 県 移 動 局 260MHzデジタル	車載型 46	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所
		半固定型 39	県出先機関 8台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
			9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
			8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
			9消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭
		5防災関係機関：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井	
		携帯型 70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
	携帯型(他機関) 44	原子力センター 3台、地域医療課 41台	
	小 計 199		
	F W A (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局
消 防 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所	
	携帯型 10	県庁 1台、防災航空事務所 9台	
	小 計 11		
防 災 移 動 局	携帯型 5	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
計	216		
携 帯 局(ヘリ用)		消防用 2	防災ヘリコプター
航 空 機 局		航行運航用 1	
ヘ リ サ ツ ト 局	携帯基地地球局	固定型 1	県庁局
	ヘリコプター局	ヘリ搭載型 1	防災ヘリコプター
	計	2	
合 計		239	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

令和4年中

区 分	一年間の総計	一カ月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 ・ 合 庁 局	254,417	21,201	(9局) 2,356
ダ ム 管 等 局	10,875	906	(11局) 82
県 出 先 機 関	6,322	527	(14局) 38
市 町	515	43	(17局) 2.5
消 防 本 部	117	10	(9局) 1.1
国 出 先 機 関	76	6.3	(5局) 1.3
公 共 機 関	37	3.1	(9局) 0.3
原 子 力 発 電 所 等	83	6.9	(10局) 0.7
合 計	272,442	22,703	(84局) 270

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

令和4年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指 令 回 数	226	1,251	788	2,265	650	8	2,923
前年比 (%)	81	75	91	81	74	62	79

[指令種類別]

令和4年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指 令 回 数	2,692	11	201	180	8	3,092
前年比 (%)	79	25	85	85	—	79

(3)一斉指令月別通信回数

令和4年中

区分	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気警報	20	14	2	0	0	0	16	110	26	0	0	38	226
象注意報	144	124	82	76	68	54	195	152	60	76	78	142	1251
関情報	131	109	96	21	21	26	82	98	55	28	21	100	788
係小計	295	247	180	97	89	80	293	360	141	104	99	280	2265
事務連絡	61	52	46	54	53	52	65	65	60	28	41	73	650
テスト	0	0	1	2	0	5	0	0	0	0	0	0	8
計	356	299	227	153	142	137	358	425	201	132	140	353	2923
全県	348	272	223	147	136	120	310	375	176	118	127	340	2692
県出先	0	4	0	1	1	3	0	0	0	2	0	0	11
市町	8	23	4	4	5	16	44	49	9	14	13	12	201
消防	8	23	3	5	5	12	43	44	6	11	9	11	180
その他	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8
計	364	322	230	157	147	151	405	468	191	145	149	363	3092

備考)市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通回数集計表

令和4年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	1,843	1,763	2,493	2,482	2,177	2,325	2,008	1,803	2,096	1,745	1,514	1,797	24,046
三国支部・坂井合庁	2,338	2,160	3,166	3,710	2,775	3,219	2,661	2,649	2,857	2,506	2,238	2,281	32,560
奥越支部・奥越合庁	1,851	1,761	2,201	2,871	2,069	2,450	1,926	2,556	2,208	2,229	1,938	1,863	25,923
勝山中継局(注1)	135	175	128	194	215	257	264	101	201	241	173	219	2,303
丹南支部・南越合庁	3,293	3,028	4,356	4,322	3,254	3,998	3,156	5,326	4,101	3,486	3,864	3,843	46,027
鯖江丹生支部	1,125	1,004	1,522	1,753	1,092	1,327	1,089	999	958	785	887	955	13,496
敦賀支部・敦賀合庁	2,420	2,673	3,648	3,379	2,897	3,432	2,659	3,135	2,794	2,670	2,661	2,501	34,869
小浜支部・若狭合庁	2,894	2,977	4,009	4,337	3,648	4,017	3,279	3,140	3,493	3,184	2,986	2,751	40,715
福井合庁	2,709	2,590	3,446	3,673	2,896	3,528	2,732	2,789	2,818	2,875	2,091	2,331	34,478
原子力センター	275	352	572	320	352	294	298	297	244	292	266	266	3,828
笹生川ダム管	127	117	171	149	129	106	110	100	117	121	97	120	1,464
笹生川堰堤	0	2	0	1	0	9	0	17	6	3	11	1	50
浄土寺川堰堤	2	0	0	5	5	10	18	11	2	10	10	5	78
広野ダム管	177	308	316	399	400	401	260	417	216	324	227	194	3,639
広野堰堤	3	15	12	28	42	59	26	42	24	30	34	18	333
梶谷堰堤	10	11	24	29	30	63	37	61	17	30	44	33	389
龍ヶ鼻ダム管、永平寺堰堤	52	65	135	152	82	93	52	54	61	96	85	79	1,006
大津呂ダム管	0	0	0	1	26	10	0	5	4	2	0	16	64
河内川堰堤	0	1	0	2	0	7	1	3	0	2	0	8	24
計	19,254	19,002	26,199	27,807	22,089	25,605	20,576	23,505	22,217	20,631	19,126	19,281	265,292

(注1) 恐竜博物館への通信を含む

※土木事務所(支部局)と合同庁舎が隣接している局については、合算している。

4 端末局無線通信回数調

令和4年中

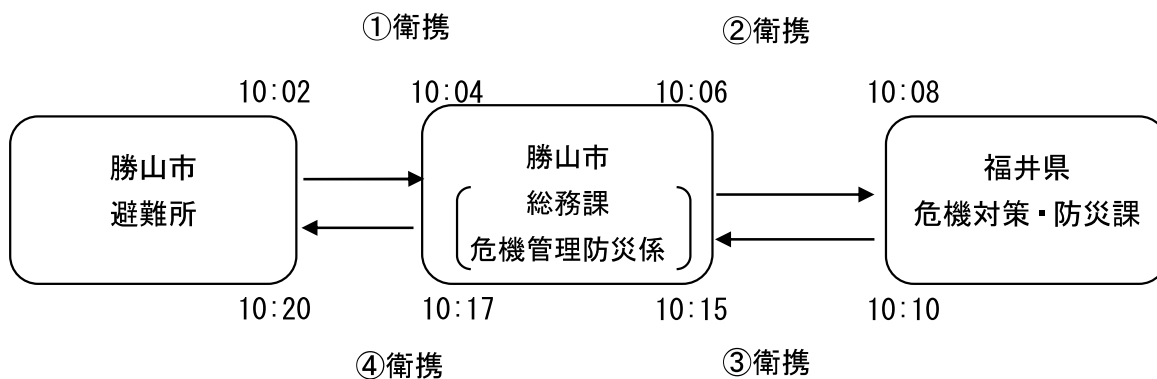
無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	38	福 井 消 防	12	福 井 気 象 台	57
敦 賀 市	25	大 野 消 防	16	鯖 江 自 衛 隊	6
小 浜 市	22	勝 山 消 防	14	舞 鶴 自 衛 隊	2
大 野 市	37	永 平 寺 消 防	14	敦 賀 海 保	5
勝 山 市	37	嶺 北 消 防	17	福 井 海 保	6
鯖 江 市	53	鯖江丹生消防	10	国 出 先 計	76
あ わ ら 市	28	南 越 消 防	10	福 井 駅	3
越 前 市	36	敦賀美方消防	11	N H K 福 井	0
坂 井 市	21	若 狭 消 防	13	福 井 テ レ ビ	1
市 計	297	消 防 計	117	福 井 放 送	0
永 平 寺 町	15	福 井 保 健	35	F M 福 井	0
池 田 町	28	若 狭 保 健	24	日 赤 福 井	4
南 越 前 町	42	二 州 保 健	156	福 井 県 医 師 会	8
越 前 町	29	丹 南 保 健	1,358	福 井 火 力	6
美 浜 町	27	坂 井 保 健	19	福 井 備 蓄	15
若 狭 町	31	奥 越 保 健	21	公 共 機 関 計	37
お お い 町	23	衛 生 環 境 セ ン タ ー	1,965	原 電 敦 賀	4
高 浜 町	23	県 立 病 院	71	関 電 美 浜	18
町 計	218	防 災 航 空 隊	21	関 電 大 飯	5
市 町 計	515	福 井 港 湾	216	関 電 高 浜	3
		敦 賀 港 湾	1,824	原 子 力 機 構 ふ げ ん	3
		福 井 空 港	17	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	12
		坂 井 上 水	269	敦 賀 オ フ サ イ ト	6
		日 野 川 上 水	326	美 浜 オ フ サ イ ト	20
		県 出 先 計	6,322	大 飯 オ フ サ イ ト	6
				高 浜 オ フ サ イ ト	6
				原 子 力 発 電 所 等 計	83
				合 計	7,150

※衛星回線による、端末局同士の通信回数はカウントされていない

5 非常通信訓練実施状況

(1) 令和4年度福井県総合防災訓練における非常通信訓練（令和4年10月8日）

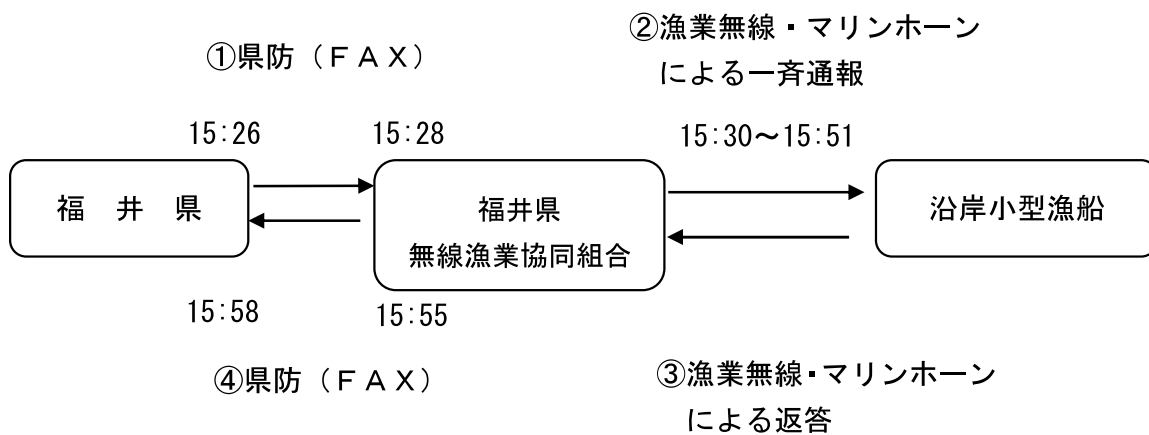
・勝山市役所から福井県あて往復信



(参考)
・衛携：衛星携帯電話

(2) 原子力総合防災訓練における非常通信訓練（令和4年11月4日）

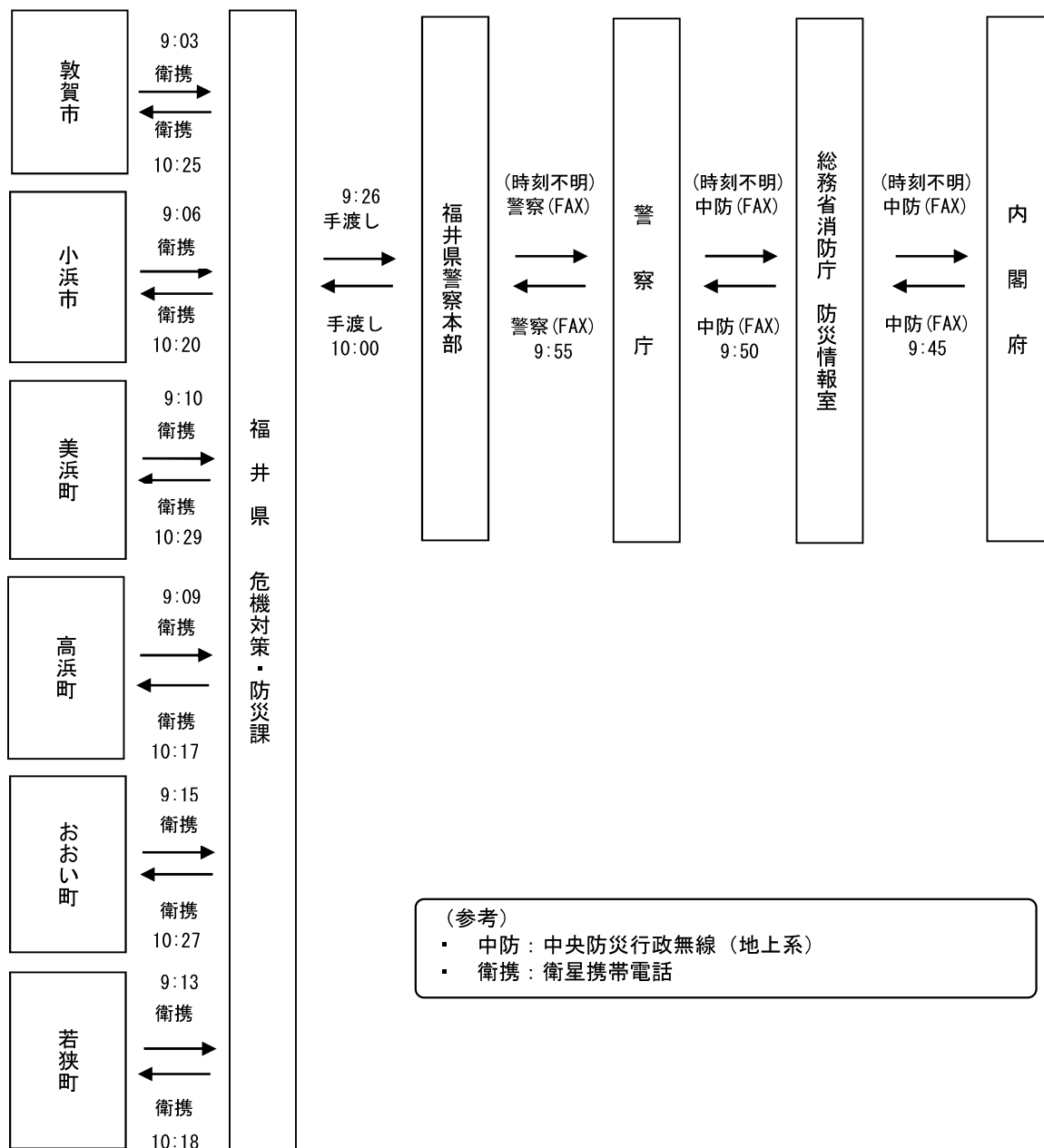
・福井県から沿岸の船舶に向けて情報発信（漁業無線およびマリンホーンを使用）



(参考)
・県防：県防災行政無線（地上系）

(3) 第85回全国非常通信訓練(令和4年11月30日)

- ・嶺南地方から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信。市町～県庁間は衛星携帯電話(ワイドスターII)、県庁～内閣府間は国交省ルートを使用。

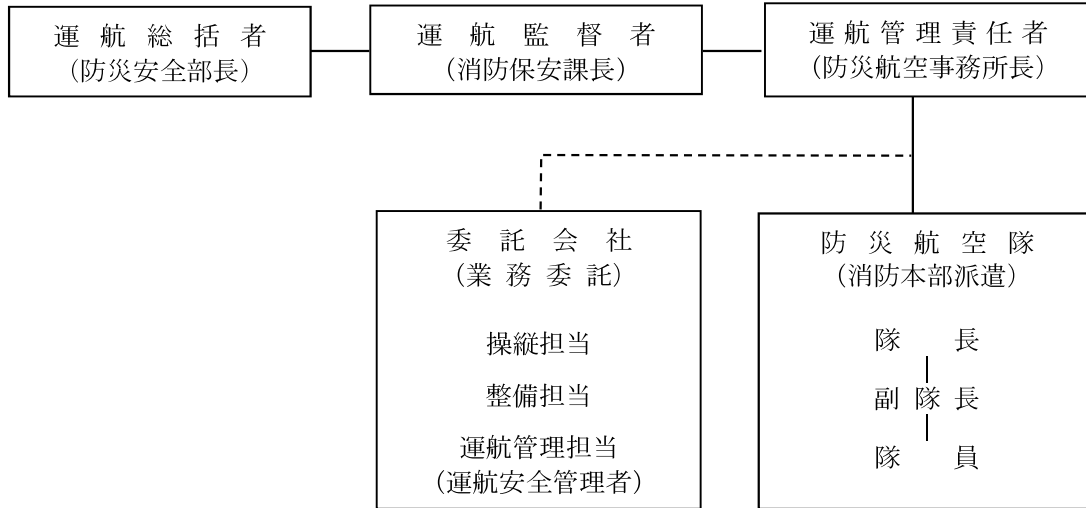


第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

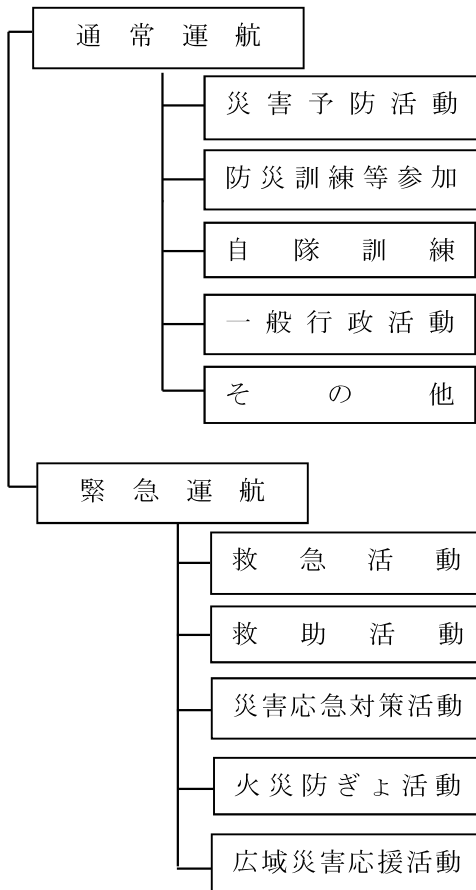
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 (ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585kg
最大搭載可能重量	1,715kg
航続距離	685km
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,500kg
全長	13.03m
全高	3.95m
最大速度	278km/h
航続時間	約3.5h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

令和5年3月31日現在

区分	緊急運航							通常運航							合計
	救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害応援	計	自隊訓練	連携訓練	防災訓練参加	災害予防活動 危険箇所調査	災害予防活動 広報	一般行政	整備	その他	
平成23年度	件数 25 時間 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62 39:18	125 151:46		39 29:10		4 16:10	4 5:08	3 5:23	4 3:31	241 250:26
平成24年度	件数 25 時間 13:51	24 18:31		1 0:52	11 13:25	61 46:39	162 183:11		39 27:30		3 11:08	1 1:40	5 7:41	5 2:03	276 279:52
平成25年度	件数 29 時間 15:24	23 19:33	9 13:12		12 13:28	73 61:37	158 184:16		33 21:18		3 11:11	1 1:40	5 5:54	4 4:05	277 290:01
平成26年度	件数 28 時間 12:35	29 20:32			12 12:35	69 45:42	139 146:21		33 26:36	1 1:43	3 11:43	4 2:16	8 8:02	8 5:26	265 247:49
平成27年度	件数 36 時間 19:30	36 26:08			6 9:38	78 55:16	162 174:09		40 25:37			2 2:24	6 4:16	3 2:37	291 264:19
平成28年度	件数 37 時間 20:50	31 30:03			10 14:41	78 65:34	142 152:04		40 29:34			2 3:17	9 10:26	2 1:21	273 262:16
平成29年度	件数 28 時間 15:55	40 29:37		1 1:04	14 14:55	83 61:31	152 159:41		27 20:22			1 1:26	7 5:06	3 1:34	273 249:40
平成30年度	件数 21 時間 15:19	18 9:26	1 0:25	1 0:24	21 12:56	62 38:30	176 188:45		32 22:58				8 5:48	4 1:44	282 257:45
令和元年度	件数 25 時間 13:50	36 24:25	2 1:23		28 24:21	91 63:59	167 183:15		25 22:10				11 6:49	4 2:23	298 278:36
令和2年度	件数 35 時間 16:26	42 23:20	1 1:07	2 1:50	8 8:50	88 51:33	155 179:38		37 31:29				19 9:31	1 0:51	300 273:02
令和3年度	件数 27 時間 10:26	43 30:43	5 3:46	5 5:45	24 14:19	104 64:59	158 172:31	31 28:44	7 5:43				9 7:14	4 2:07	313 281:18
令和4年度	件数 29 時間 12:14	36 19:26	6 4:00	3 4:15	40 30:16	114 70:11	125 129:00	23 17:15	15 9:47				17 6:26	4 2:30	298 235:09

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある